

環境行動計画

FDKグループでは、環境への取組計画として、3年に一度「環境行動計画」を策定し活動しています。2003年度末をもって「第2期環境行動計画」が終了し、新たに「第3期環境行動計画」として2004年～2006年度の環境戦略を策定しました。本計画を基に年度のスケジュールを定めて毎年スパイラルに向上していくことを狙って活動してまいります。

第二期 環境行動計画に対する実績(2001~2003年度)

第2期までは事業活動における環境負荷を減らす活動を中心に温暖化ガスの排出削減、廃棄物の削減、グリーン調達の推進などに取り組み、充実した成果をあげました。今後も、グループ全体で全員参加型の取り組みを拡大していきます。なお、第2期環境行動計画で目標が100%達成できなかったものについては、原因の分析・究明を行い、新たなしくみづくりなどにより引き続き取り組みを続けてまいります。

項目	行動計画	実績	評価
温暖化ガスの排出削減	単位生産高あたりのエネルギー使用量を2003年度末までに、1999年度実績比で30%削減 2003年度末までに、既存/工場・設備の絶対使用量を、1998年度実績比で9%削減	単位生産高あたりのエネルギー使用量を1999年度実績比で、46%削減した。	◎
		既存/工場・設備の絶対使用量を1998年度比で49%削減した。	◎
廃棄物の削減	有効利用されない廃棄物を2003年度末までに、1998年度実績比で60%削減 2003年度末までに、ゼロエミッションを確立	有効利用されない廃棄物を1998年度比で81%削減した。 いわき工場は2001年度に、FDKエコテックでは2003年度にゼロエミッションを確立した。他の事業所では取組み継続中。	◎ -
環境配慮製品の開発	* 製品アセスメントの活用とLCA(ライフサイクルアセスメント)手法の導入を図る(2003年度) 新規開発の全ての製品をグリーン製品として、2003年度末までに提供 (1)2003年度末までに、「電線材/新規設計品のはんだ」中の「鉛」を全廃 (2)2003年度末までに、社内で製造する製品の「鉛はんだ」を全廃 (3)2005年度末までに、「ハロゲン系難燃材」を全廃(新規設計品は2003年度末までに全廃)	2003年度に電池とステッピングモーターの2製品にて試行導入した。 ・電線材の新規設計品および、社内で製造する製品の鉛はんだの廃止実績は69%。 ハロゲン系難燃剤の全廃に向けてはRoHS対象のPBB、PBDEを含め、取組中。	○ -
化学物質管理削減	特定化学物質の排出量を、2003年度末までに1998年度実績比で40%以上削減 削減対象物質の使用量を、2003年度末までに1999年度実績比で70%以上削減	特定化学物質の排出量を、1998年度実績比で33%削減した。 削減対象物質の使用量を、1999年度実績比で32%削減した。	○
グリーン調達の推進	グリーン部材の調達比率を2003年度末までに、調達金額の99%以上を目指す 事務用品:2003年度末までに公益法人・団体が認定したグリーン商品の調達比率100%を達成	グリーン部材の調達比率は調達金額の99.1%を達成した。 事務用品を公益法人・団体が認定したグリーン商品の調達比率100%を達成した。	◎ ◎
環境情報の開示	環境報告書を作成し、2003年度より開示	環境報告書を2003年度から毎年発行した。	◎
環境汚染防止	法令の遵守 自主管理基準の設定と管理水準の向上	違法事項なし。 法令よりも厳しい自主管理基準を設定し、日常の管理を行っている。	◎ ◎
環境保全活動の推進	ISO14001に基づく継続的改善とパフォーマンスの向上	第三者機関の評価により、ISO14001のマネジメントシステムは、向上したとの評価を受けた。また、省エネ、廃棄物などのパフォーマンスも向上した。	◎

第三期 環境行動計画(2004~2006年度)

第3期からは富士通グループ全体としての方針を受け、最先端のIT環境技術をベースに、事業活動の全領域を通じてお客さまや社会に貢献できる活動に取り組んでまいります。特に海外事業所での取組みを強化するとともにグリーンファクトリーの構築、グリーン製品、スーパーグリーン製品の開発に注力してまいります。

項目	行動計画
環境経営の強化	<p>環境マネジメントシステムに基づく環境経営の枠組みを、2005年度末までにグループ全社で確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本社、営業を含めた国内の全領域に環境マネジメントシステムの導入を図る。
グリーン調達	<p>取引先における環境マネジメントシステム(EMS)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内の製造拠点を活動の対象とし、環境マネジメントシステムが構築されていない取引先に対して環境マネジメントシステムの構築を推進する。 ・ 構築する環境マネジメントシステムは、ISO14001、EMASエコアクション21、エコステージ、地域独自の環境マネジメントシステム、等の第三者認証機関が認証したもの、又は、富士通グループ環境マネジメントシステム(略称:FJEMS)、富士通グループ環境マネジメントシステムと同様レベルの新たに考案したFDKグループ環境マネジメントシステム、FDKが認めた取引先独自の環境マネジメントシステムとする。
製品環境対策	<p>環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を、2006年度末までに提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ、3R(Reduce, Reuse, Recycle)設計、有害物質などの環境要素を先行取り込みし「グリーン製品(環境配慮強化型製品)」の中でも、「世界初」、「世界最小」、「国内初」、「業界初」、「国内最小」、「業界最小」となるトップランナー製品である「スーパーグリーン製品(環境配慮トップ型製品)」を2006年度末までに提供する。 <p>全ての製品に含有する富士通グループ指定有害物質を、2005年度末までに全廃する。 ただし、RoHS対象の欧州向け製品は、2004年12月末までに対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士通グループ指定有害物質3物質群を全ての製品において2005年度末までに全廃する。 ・ 欧州向けのRoHS対象製品は、鉛、カドミニウム、水銀、6価クロムの化合物およびPBB、PBDEについて、2004年12月末までに対応する。
地球温暖化防止	<p>エネルギー消費CO₂を2006年度末までに2000年度実績比15%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内事業所におけるエネルギー消費CO₂を2006年度末までに2000年度実績比15%削減する。 <p>物流・リサイクル・省エネ製品等により削減貢献。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物流改善、製品・包装材のリサイクル、省エネ製品の開発及び購入によりCO₂の削減を促進する。
グリーンファクトリーの推進	<p>化学物質(PRR対象物質)の排出量を、2006年度末までに2000年度実績比で15%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の事業所を対象として、PRR対象化学物質の排出量を2006年度末までに、2000年度実績比で15%削減する。 <p>廃棄物発生量を2006年度末までに2003年度比で3%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の事業所を対象として、廃棄物の発生量を2006年度末までに2003年度比で3%削減する。 ・ 尚、2004年度末までにゼロエミッションを達成する。 (第2期環境行動計画の2005年度末までを1年前倒しで実施する。)